

「看護補助者」についてもっと知る

看護補助者の話をもっと聞いてみたい

YouTubeの動画を見てみる

看護補助者の紹介動画(厚生労働省「医療専門職支援人材確保定着事業」作成)

<https://www.youtube.com/watch?v=HIFFTJVsrkA&list=PLMG33RKISnWiywYwNSXwbbUFDJsJZerEs&index=4>



どんな求人が出ているのか見てみたい

ハローワークで求人票を見てみる

お近くのハローワークを訪問、または以下のページから検索することもできます。

ハローワークインターネットサービス 求人情報検索・一覧

<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/kensaku/GECA110010.do?action=initDisp&screenId=GECA110010>



【検索方法の例】希望する職種 > 職種を選択 > 医療、看護、保健 > 看護助手

実際に医療機関を見学してみたい

病院に相談してみる・見学してみる

医療機関によっては、見学会や先輩看護補助者の話を聞くことができます。医療機関へご相談ください。



ナースエイド

「看護補助者」

という選択

看護補助者とは

病院や診療所において、看護師の指示をもらいながら、患者さんの入院生活や施設の利用者さんの生活を支える職業です。資格が無くても就業でき、研修やサポート体制が充実している病院も多いため、医療の現場で日々成長を感じながら、安心して働くことができます。「看護補助者」のほか、「看護助手」「ナースエイド」「看護アシスタント」などと呼ばれることもあります。



ナースエイド

看護補助者として働く魅力

- 患者さんと触れ合う機会が多いため、患者さんやご家族から感謝されることも多く、日々やりがいを感じやすい環境です。
- 資格がなくても就業でき、研修やサポート体制が充実している病院も多いため、医療の現場で日々成長を感じながら、安心して働くことができます。
- 短時間から働ける病院もあり、子育て中の方や、シニア世代も含めて、幅広い年代の方が活躍しています。

ナースエイド

先輩看護補助者の声

40代 男性
忙しい時間帯もありますが、患者さんに「ありがとう」と言ってもらえると、この仕事を選んで良かったと思います。

50代 女性
未経験で最初は不安でしたが、研修やサポートが充実していたので、今では安心してお仕事ができています。

30代 男性
看護補助者として働いているうちに、もっと専門知識・技術を身に付けたいと思い、働きながら「介護福祉士」の資格を取得しました。(※1)

20代 女性
アルバイトとして看護補助者の仕事をしながら、看護学校に通っていました。看護師の資格を取得し、今は看護師として働いています。

※1 介護福祉士の受験資格として「養成学校修了」または「実務経験」が必要です。「実務経験」は、具体的に「介護等の業務に係る実務経験3年以上」と「実務者研修の修了」が必要です。(主な仕事は周辺業務の場合は、実務経験に含まれません。)

一緒に働く仲間からの声

30代 女性 看護師
いつも業務をサポートしてくれて、とても助かっています。看護業務を実施していく上で、看護補助者の皆さんは、無くてはならない存在です。

50代 女性 看護部長
私の病院では、看護師と看護補助者のコミュニケーションに関する研修を実施しています。看護チームとしての信頼関係を大切に、一人ひとりが気持ち良く業務を実施できる環境づくりを心がけています。

ナースエイド

看護補助者の仕事内容

- 看護師の指示をもらいながら、患者さんの入院生活や施設の利用者さんの生活を支えるお仕事です。
- 患者さんの身体的なお世話(食事介助、清潔ケア、排せつ、移動・移送に関する業務など)と、周辺業務(清掃、シーツ交換、ベッドメイキング、備品整理、書類整備など)があります。

主な業務内容のイメージ ※2

ミーティング・情報収集

出勤時には、職場のスタッフとミーティングを実施します。患者さんの情報共有や連絡事項の確認を実施します。

食事のお手伝い

食事のためのテーブル準備や、食事の配膳・下膳を行います。食事の介助をおこなう場合もあります。

清掃・シーツ交換

シーツ交換やベッド付近の清掃をおこないます。患者さんが気持ちよく療養生活を送ることに繋がります。



清潔ケア・身体的なサポート

定期的には患者さんの清潔ケアをおこないます。入浴日には入浴のサポートをおこないます。患者さんの状態によっては、排せつのサポートや移動・移送のお手伝いをおこないます。

物品の補充・管理

物品の補充や管理をおこないます。医療機関にはたくさんの物品がありますが、先輩方のサポートを受けながら少しずつ覚えていくことができます。

勤務時間のイメージ ※2



- 医療機関によっては、「短時間勤務」や「週3日勤務」など、働き方について相談できる場所もあります。また、「日勤のみ」「日勤+夜勤」「夜勤のみ」等、個々人の状況に合わせて働き方を相談できる医療機関もあります。

※2 勤務時間や業務内容は、病院や病棟により異なる場合があります。